

社会環境部会 2022 秋の大会における全体会議メモ（案） r1

2022 年 9 月 10 日

1. 開催日時
2022 年 9 月 9 日（金）12：10～12：50
2. 開催場所
F 会場
3. 参加者
土田部会長、佐田副部会長、他運営小委員会委員および社会環境部会員…約 20 名
4. 概要
 - 土田部会長が開会挨拶を行った
 - (1) 審議事項
 - 最初に山本事務局長より新委員 1 名の紹介と併せて 2022 年度における運営小委員会の構成並びに体制の紹介があった。途中、新委員である廣瀬氏(伊藤委員の後任)より挨拶があった。
 - 続いて、高木委員より 2022 年度の予算並びに執行状況について紹介があった。
 - 以上、2 件の審議案件について意見等求めた上で、拍手により異議なく承認された。
 - (2) 報告事項
 - 最初に廣瀬委員より「マスメディアとの関係構築」について今年度の計画が紹介された。その中でテーマとしてはマスコミ諸氏の要望を受けて「革新炉開発の現状と今後について」とする方向で検討していること、またハイブリッド形式を望む声を受けて「AP 東京八重洲」での開催を検討中との説明があった。
 - 続いて山本事務局長よりポジション・ステートメント改革の概要と現状について報告があった。
 - また、佐田副部会長より、この全体会議に引き続いて開催される部会企画セッションについて紹介があった。
 - 最期に寿楽委員よりこの 4 月に立ち上げた「総合知研究専門委員会」について概要が紹介され、これまでに開催した 3 回の委員会と年度内における開催予定について簡単に紹介があった。
 - (2) フリーディスカッション

- 審議事項及び定例報告終了後、土田部会長の司会で自由討議を行った。
- 一般部会員からは特段の質問等が無かったことから、意見交換のきっかけとして、土田部会長より今年度から始まった会友制度について簡単な説明があり、現時点で約 4000 名の登録があったことが紹介され、当部会の期待としては、この会友の中から当部会に興味を持つ人材が発掘できれば、といった趣旨の発言があった。
- 会場より、「私は土木業界の人間で、最近原子力学会に入会した。しかし、原子力学会はどうしても敷居が高いことから入会するまでには至らない方が多い。会友のような形で原子力業界の情報に接触できるのは非常にありがたい。」との声があった。

以上